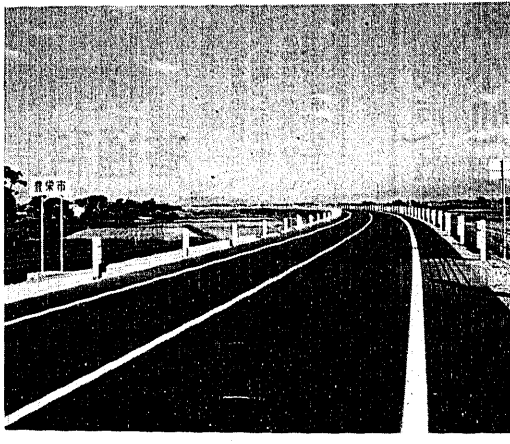


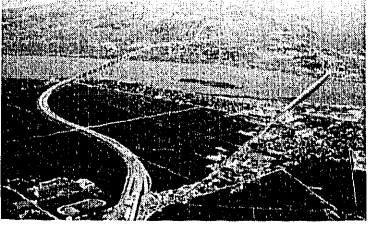
新々バイパス一部開通

競馬場線⇕大形本町

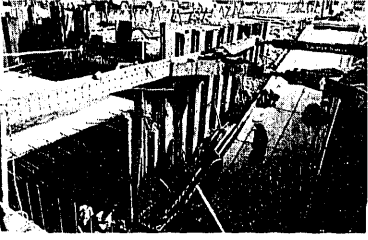
新々バイパスの一部、競馬場線と海老ヶ瀬(大形本町)の両インターチェンジ間二車線が、十月二十四日に開通します。
 開通部分は、五・九号で四十八年に着工、工事費と用地費で約九十億円が投じられました。
 このたびの一部開通によって、新潟と新潟田間の交通事情は、大いに改善されています。



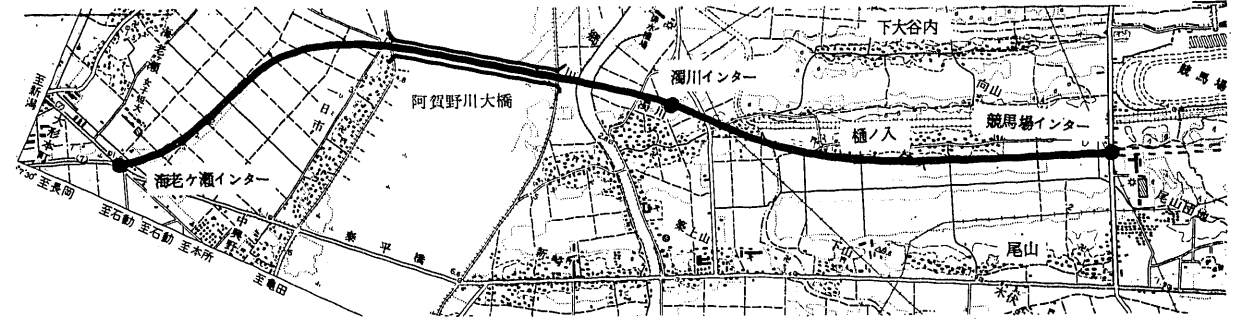
開通間近の新々バイパス、新潟市との境界、種ノ入地内



新潟市上空から見たバイパス



事故防止のため競馬場線には地下歩道



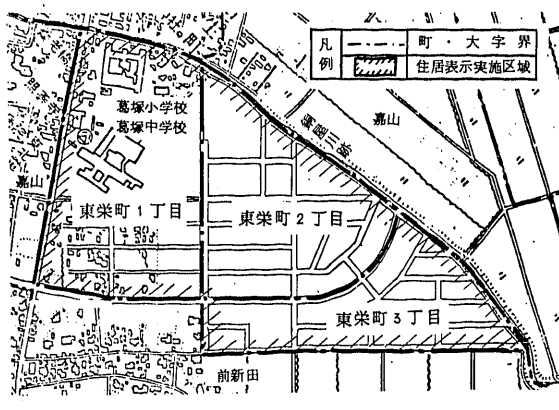
幼稚園新設等に補助

建物と設備を対象に

市は、私立幼稚園を開設したり、学級の増設を行う者に対して、補助金を交付するための要綱を定めました。
 市内には、公立私立とも十五の保育所があり、保育率は、県下でも最前とわれています。この反面、幼児教育のための幼稚園は、二つの私立幼稚園があるだけで、幼児教育については、非常に立ちおくれしています。このため市

東新町などを 住居表示

図で示した地域について、十一月一日から住居表示を実施することになりました。



は補助金制度を定め、私立幼稚園を導入し、幼児教育の普及を図ろうとするものです。
 この補助金交付要綱のおもな内容は、次のとおりです。
対象事業 設置認可された幼稚園を市内に開設したり、認可により学級を増設する場合、または個人立から学校法人立に組織変更し、学級増設を行う場合で、いずれも建物と設備が補助対象になります。
補助額 補助金の交付申請額と建築実施価額とのいずれか少ない額の三分の一以内となります。
設備 については、国・県が定めた基準品目について新設の場合は、一園当たり五十万円と学級数に二十万円を乗じた額となります。
 学級増設の場合は、三十万円となります。
補助金の交付申請 については、市長が定める基準額と建築実施価額を申請し、申請書の提出は、前年の九月二十日までとします。
その他 補助金の交付を受けてから二十年内に幼稚園を廃止したり休止した場合、市長は補助金の返還を命じることができ、補助申請の窓口は、教育委員会です。

冬期間はバイクを禁止か

高校生の事故防止

新聞などでも報道されましたが、先ほども、木崎地区の国道で、年少者のバイク暴走による重大事故が、発生しました。市内でも暴走族に類するグループが二、三組あり、スピード違反などが、増加しています。
 このようなバイクの暴走事故を防ぐための会議が、十月七日、市役所で開催されました。出席した人は、県教育委員会、県交通安全対策課、地元警察、高校、PTAなどの関係者でしたが、高校生の事故防止対策として、次のようなことを実施することにしました。
△県の対策
 一 豊栄市を事故防止のモデル地区に指定し、安全教育と取り締まりを強化する
 二 冬期間(十一月以降)の通学用バイクの運転禁止を検討する
△市の対策
 一 交通安全関係者による暴走、違反などに対する通報制度の実施
 二 母親による各地域での事故防止会議の開催
 三 暴走族防止のためのステッカー、ポスターの配布
 なお、この会議で強く提言されたことは、次のことからでした。
 ○ 必要以上に排気量の大きいバイクは、与えないこと
 ○ 暴走族化は、警察や教育関係者だけでは防止できない。各家庭での対策が必要だ。
 ○ 子供部屋の密着化により、非行化を見落している。
 ○ 親子の対話不足と子供の放任

